

第3章

地域の皆さまとの対話・情報発信

1 地域の皆さまとの対話・情報発信

●地域の皆さまとのコミュニケーションを深めるため、「発電所見学会」、「発電所キャラバン」、「意見交換会」などを実施しています。

■ 発電所見学会

発電所の安全性向上対策などを現地で直接ご覧いただく「発電所見学会」を実施。

2022年度実績：4,648人 <参考> 2021年度実績：2,030人



■ 発電所キャラバン（対話イベント）

当社原子力館をはじめ地域の皆さまが足を運ぶショッピングセンターや地域のイベントなどで、原子力発電の必要性や発電所の安全性向上対策などの説明を行う「発電所キャラバン」を実施。

2022年度実績：15回（970人） <参考> 2021年度実績：41回（1,771人）



浜岡原子力館

ショッピングセンター

地域イベント会場

■ 意見交換会

地域の皆さまが日ごろ疑問に感じておられる発電所の安全性向上対策や、エネルギー問題などについて、少人数で話し合う「意見交換会」を実施。

	2022年度実績	<参考> 2021年度実績
御前崎市	9回（146人）	33回（499人）
牧之原市	25回（638人）	28回（687人）
掛川市	30回（421人）	35回（505人）
菊川市	2回（51人）	10回（160人）
4市合計	66回（1,256人）	106回（1,851人）

※ コロナ禍における意見交換会の代替手段として、自治会の会合などにて発電所の近況をお知らせする「説明会」を含んでいます。

● 女性の方々との意見交換会「しゃべり場」

女性に関心の高い企画（花の寄植教室、ストレッチ講座など）とともにエネルギーに関する情報提供をきっかけとした意見交換会を実施。

2022年度実績：3回（36人） <参考> 2021年度実績：6回（108人）



意見交換会

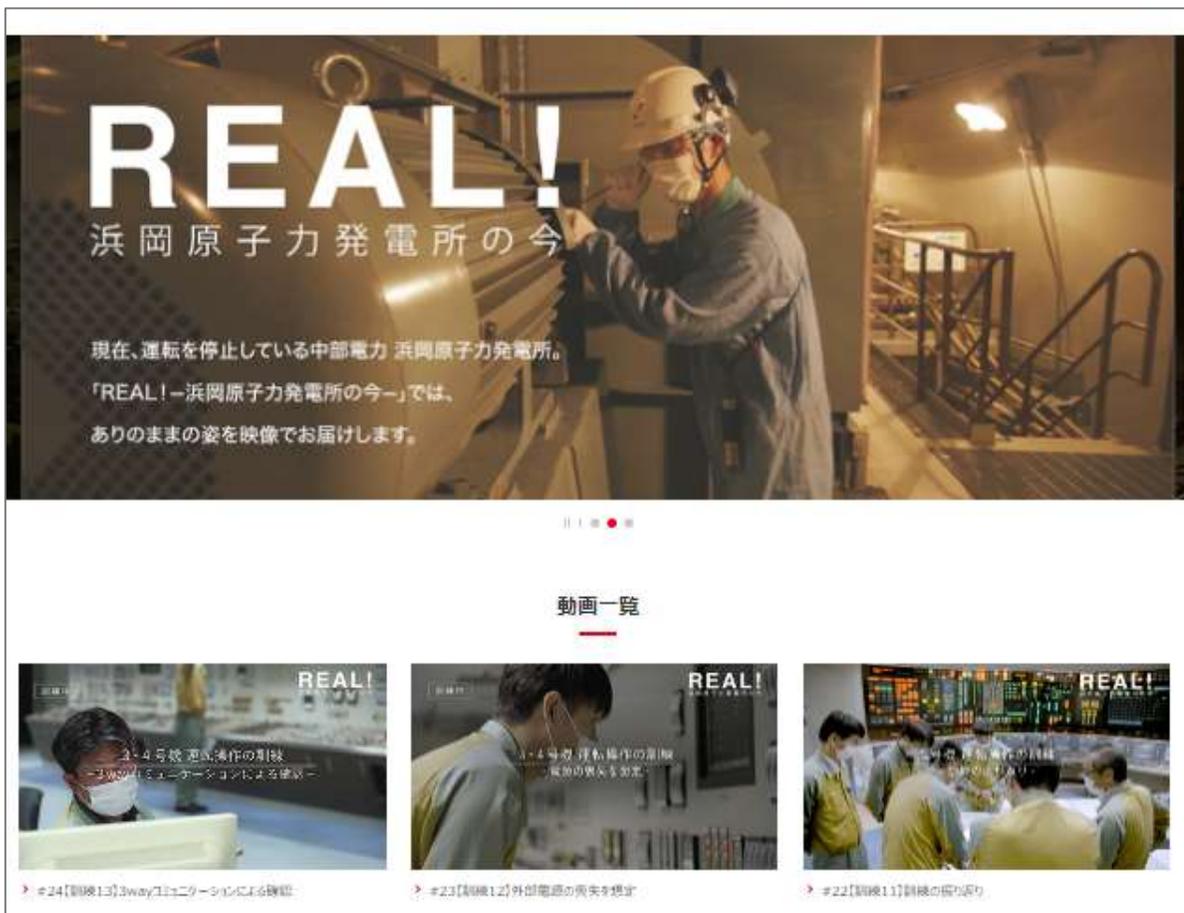
説明会

しゃべり場

※2022年度実績は、2022年12月末時点の値です。

1 地域の皆さまとの対話・情報発信

- 現場対応力の強化に向けた取り組みをはじめ、浜岡原子力発電所の安全性向上に向けた様々な取り組みを紹介するWEB動画を制作し、当社ホームページやSNSで配信しています。



REAL!
浜岡原子力発電所の今

現在、運転を停止している中部電力 浜岡原子力発電所。
「REAL!—浜岡原子力発電所の今—」では、
ありのままの姿を映像でお届けします。

動画一覧

- #24【訓練13】3way11センターシミュレーションによる確認
- #23【訓練12】外部電源の喪失を想定
- #22【訓練11】訓練の振り返り

■ 現場対応力の強化に向けた取り組みに関する動画（例）



「【訓練7】車両による送水ホースの敷設」篇



「【訓練10】非常時のオペレーション」篇

【当社ホームページ内特設ページ】 [REAL! 浜岡原子力発電所の今](#)（リンク設定あり）

1 地域の皆さまとの対話・情報発信（防災対策の充実）

● 社内防災訓練や国・自治体・関係機関との連携訓練の様子などは、当社ホームページやSNSで公表・配信するとともに、発電所周辺地域の皆さまへの『定期刊行物（発電所ナビ）』にも掲載するなど、防災対策の充実に係る当社の取り組みを皆さまにお伝えしています。

■ ホームページ公開情報

緊急事態対策訓練の実施について 2022年3月1日

当社は、本日、緊急事態対策訓練を実施しましたので、お知らせいたします。

今回の訓練は、運転中の浜岡原子力発電所4号機(安全性向上対策工事完了)および停止中の3号機(安全性向上対策工事中)において、同時に重大事故等が発生したことを想定し、重大事故等に対する災害対策組織や対策要員の対応能力向上および対応の実効性を検証することを目的としました。なお、訓練はその内容を事前に明かさずブラインド方式で実施しております。

【緊急事態対策訓練について】

- 1 訓練日時 2022年3月1日(火) 13時05分～14時30分
- 2 訓練場所 浜岡原子力発電所、本店、東京支社、静岡支店等(約340名)
- 3 訓練概要
運転中の浜岡原子力発電所4号機(安全性向上対策工事完了)および停止中の3号機(安全性向上対策工事中)において、同時に重大事故等が発生したことを想定し、以下の各項目の訓練を実施しました。

訓練項目	主な訓練内容
重大事故等対応訓練	伊心損傷防止、格納容器破損防止対応 等
通報訓練	社内・外に対しての通報連絡
避難誘導訓練	避難者へのタイムリーかつ的確な避難指示および避難誘導
原子力災害医療訓練	放射線管理区域からの傷病者搬出、汚染検査、応急処置
モニタリング訓練	可搬型モニタリングポストの設置および測定

■ SNS (Facebook, Twitter)

中部電力 / CHUBU Electric Power 2022年5月26日

■ 浜岡原子力発電所での訓練 ■

5月17日(火)および23日(月)、重大事故発生を想定した訓練を実施しました。

この訓練は、全社大で行う訓練とは別に、緊急時における個人の対応能力の底上げなどを目的として、年に6回程度実施している本部運営訓練です。

各日、発電所や本店から約200名が参加しました。

引き続き、浜岡原子力発電所の設備対策の強化に加えて、それを扱うのは人であるという考えのもと、「現場対応力の強化」にも全力で取り組み、災害時対応力の向上を目指して訓練を積み重ねてまいります。



■ 定期刊行物（発電所ナビ）

発電所ナビ

発電所トピックス

最近実施した訓練

浜岡原子力発電所では、万が一に備え、日々さまざまな訓練を積み重ねています。今回は、9月～10月に実施した主な訓練をご紹介します。

発電所員の一時避難訓練 9/30

浜岡原子力発電所で働く電力会社の方々および、中部電力社員約1500人を対象に、一時避難訓練を実施し、災害発生時の避難誘導を確認しました。

地域の外部機関との連携訓練 10/14

当社は、静岡県海上保安部、静岡県消防本部、浜岡町市(浜北地区住民区)、船方警察署とともに大規模地震をきっかけとした原子力災害を想定した訓練を実施し、市災害対策本部内での情報伝達や住民の緊急誘導などを確認しました。



以下

おわりに

- 浜岡原子力発電所における安全性向上に対する設備面および現場対応力の対策を充実させることにより、重大事故の発生を防止し、外部に影響を及ぼすことがないように、また、万一、重大事故が発生した場合の事故収束活動について、原子力事業者として責任を持って取り組んでまいります。
- 発電所周辺地域における原子力災害に対する緊急時対策・対応の充実・強化に向けた継続的な取り組みに関しては、国および自治体、関係機関の方々との連携を深め、原子力事業者としての責務をしっかりと果たしてまいります。
- 地域の皆さまとの対話などを通じて、浜岡原子力発電所における安全性向上対策および原子力災害発生時の対応（有効な避難手法である屋内退避を含む）について、丁寧に説明・情報発信してまいります。